

## ■ 篆刻で作った印鑑を保管できる**印箱**を作ろう。 ■

木彫で表現することを考え、彫刻刀の使い方を理解しや彫り跡の効果を工夫し、愛着もてるデザインを見つける。

### デザイン

- ・ 文様を使ったデザイン

ひとつの形を連続させたり、組み合わせをして文様を作りデザインする。  
過去にデザインされた文様を参考に、自分の印箱にふさわしい形に工夫する。

- ・ 具象物を使ったデザイン

花や動物など具象的なモノを木彫で表現できるようデザインをする。

- ・ 文字を使ったデザイン

いろいろな字体を工夫し、文字で表現をする。

- ・ 塗装の工夫

ラッカーなどで、木の地肌を生かし表現をする。  
ポスターカラーなどで着色をして表現をする。

---

身のまわりの木彫で装飾された工芸品を参考にしよう。

・ 宝石箱、文箱、オルゴール、家具の模様など

### 彫りの工夫

- ・ デザインされた形をどのように彫刻刀で表現するのか考える。

切り出し刀・丸刀・三角刀・平刀などの彫り跡を考え、彫る場所や深さを工夫する。

模様のデザインで、彫刻刀の特長を生かし彫り上げている形を見つけよう。

資料集の木彫のページで、彫刻刀の堀後の違いや効果を確認して、デザインの参考にしよう。

## 作業過程

### 1, デザイン

木彫であることを意識した形を工夫する。彫り方も事前にイメージしデザインを考える。  
\* 彫る面は、上蓋を中心と考え、作業に余裕があれば側面もデザインをする。

### 2, 印箱にデザインしたモノを転写

曲面している部分があるので、デザインしたイメージに合わせて丁寧に写し取る。  
\* 側面を彫る場合は、上蓋と境目のデザインに注意し、ふたを閉めたときに上蓋のデザインと側面のデザインがそろうよう注意する。

### 3, 彫刻刀で彫りの作業

先彫り・薬研彫り・方切り彫り・菱合い彫り・浮き彫り・かまぼこ彫り等、自分のデザインに併せて丁寧に彫刻刀を使う。  
\* 彫刻刀の切れ味が悪くなったら、必ず研ぎに申し出る。

### 4, サンドペーパーによる仕上げ

彫り跡の面は、角を安易に丸めないよう、注意してかける。

### 5, 塗装および着色

彫り跡の特長を生かし、どのような塗装が自分の作品にふさわしいのか考える。

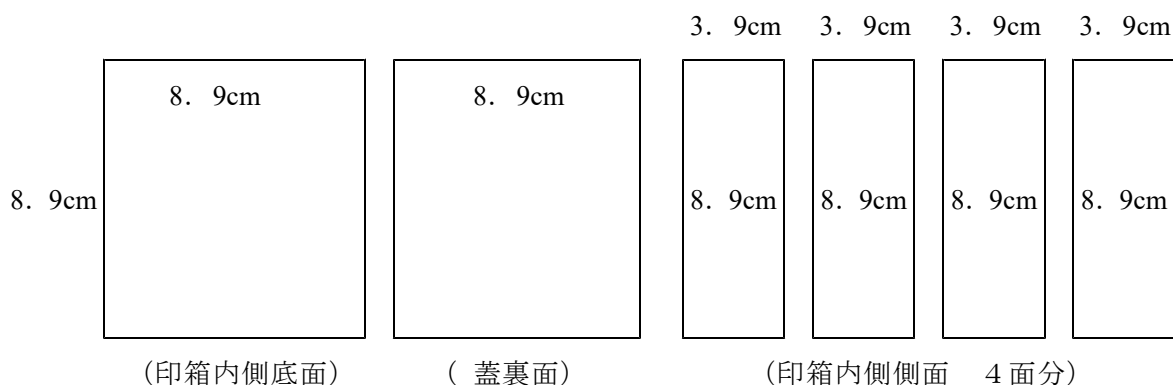
A,水性着色ニスで塗装をする。

B,ポスターカラーで着色し、透明ラッカーで塗装をする。

C,水性着色ニスとポスターカラーでの着色を使い分けながら塗装をする。

### 6, フェルトの内張

(下記の寸法にフェルトを切り、木工用ボンドで貼る。)



3年 組 No 氏名

篠路西中学校

# 印箱のデザイン

3年

組

No

氏名

デザインの説明